



「天才ドラマーの誕生」



- 音楽療法士の先生をお招きする音楽の授業は、小学部の子どもたちにとって大好きな時間です。理由は自分の好きな曲に合わせて、自分の選んだ楽器を使って、自分の思うままに表現できるからです。
- この日の主役は、小学部2年生のAさんです。リクエスト曲は、ドラえもんでお馴染みジャイアンのテーマ曲の一つ「ジャイアンにボエボエ」、選んだ楽器は電子ドラムでした。「Aさん、前へどうぞ」と名前を呼ばれると、両手で2本のドラムスティックを握り締め、瞳を閉じて演奏のイメージトレーニングをスタート。音楽が流れてくると、フットペダルでリズムを刻みながら、一番近いドラムから気持ちの赴くままにたたき始めました。もちろん「カシャーん」という音がするシンバルも鳴らして演奏にアクセントを付けます。周りからの拍手がパワーとなり、更にAさんを「ドラム演奏者ジャイアン」に変身させていきます。2本のドラムスティックを同時に使い、身体全体で演奏する姿は、見るもの全てを魅了しました。演奏後、Aさんは満面の笑顔と両手で周りの拍手に応えました。
- ドラムはスティックでたたくと簡単に、しかもいろいろな音を出せるので、演奏の自由度が高く、子どもたちにとって魅力的な楽器です。ここだけの話ですが、Aさんは初めてドラムを見たとき、触ることも、スティックでたたくこともできませんでした。しかし、友達を楽しそうにドラムをたたく姿に、Aさんの心は動き、いつしかドラムの虜になり、今では「天才ドラマー」?となりました。
- 音楽は知的過程を通らず、直接情動に働き掛けます。言葉で表現することに苦手さのある子どもにとっては、自分の内面にあるものを表現するコミュニケーションの代替手段の一つです。これからも天才ドラマーの演奏から目が離せません。



かづの校副校長 加賀谷 勝